

● 草の根パートナー型

2014年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	フィリピン
2. 事業名	ボホール州トゥピゴン市における予防／準備／対応／復旧に関する防災能力向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	将来的に自然災害が繰り返し発生すると予想されるトゥピゴン市では、各バラングイにはBDRRMという防災課が存在する。しかし、彼らが具体的にどのような防災活動を行えばいいか理解できていないという問題がある。それに伴い、住民の防災能力が低いままで、有効な対策が行えない。そこで、現地行政、BDRRMに対して働きかけ、BDRRM主導で防災に関する情報を住民全体で共有できるシステムを構築することで、台風と地震に対する住民の防災能力を向上させる。
4. プロジェクト目標	2つの対象バラングイにおいて、予防／準備／対応／復旧に関する防災能力が向上する
5. 対象地域	ボホール州トゥピゴン市のバラングイセントロとピニヤガン・スル
6. 受益者層	対象バラングイ（セントロとピニヤガン・スル）のBDRRM及び住民
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> BDRRMと住民とのコミュニケーションが密になる 住民の地震、台風に対応できる防災のスキルや知識が向上する 住民が災害発生時に適切に避難を行え、ブロック住民防災団が適切に避難誘導と復旧活動を行える 住民が主体的かつ継続的に防災活動を行っている <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 2つのバラングイでブロック住民防災団をブロックごとに設置。BDRRMと住民をつなぐためのSMSの連絡網を構築。住民に向けた防災情報広報物の作成。住民に対するアンケート調査の実施。 行政の専門家向け国内研修の実施。行政の専門家、ボホール州立大を交えたWSの実施。専門知識を活用したハザードの作成。BDRRMと防災団に向けた研修の実施。BDRRMと防災団、住民による手作り防災マップの作成。住民全体との防災マップ共有会を開催。 バラングイ行政と防災団向け国内研修の実施。住民の行動マニュアルと防災団の行動マニュアルを作成。全住民との行動マニュアル共有会を開催。BDRRMと防災団による住民防災訓練を実施。 小学生向け防災授業と防災訓練の実施。地域定例会に防災項目を追加。定期防災訓練によるマップ、マニュアルの更新。
8. 実施期間	2014年12月から2018年12月（4年）
9. 事業費概算額	49,840千円
10. 事業の実施体制	実施機関：国立大学法人名古屋工業大学 相手実施機関：トゥピゴン市行政（市役所） 協力機関：名古屋市、ボホール州立大学
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人名古屋工業大学
2. 活動内容	大学内の様々な技術開発力を全面的に活用した実践研究施設として災害に強い街づくりをめざし活動を行っている。